

# 刑法判例百選Ⅰ総論〔第8版〕

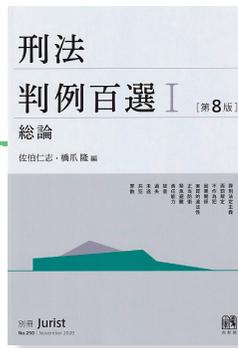
## 刑法判例百選Ⅱ各論〔第8版〕

佐伯仁志・橋爪 隆 編

I 2020年11月発売／224頁／本体2300円＋税  
II 2020年11月発売／256頁／本体2500円＋税  
B5判／並製



詳細を見る



編集  
担当者  
から

第7版が世に出てから6年経ち、第8版を刊行します。今回は、最高裁大法廷判決を含む計22件の新規判例が加わりました。旧版編者であり、2017年に最高裁判事に就任された山口厚裁判官が補足意見を述べた事件も登場します。

どの法分野でも、判例を学ぶ上で事実をよく理解することが大切なのは誰しもが理解されていることかと思えます。特に刑法判例百選では、「人の発言」が多く出てくることにより事件のリアリティが高まり、裁判所がどうしてそのような判断をしたのか、「生きた法」とはどのようなものなのか、深く考えることができます。

「はしがき」にもあるように、ぜひ好きな事件を見つけ、理解を深める素材にしてください。(A)

Index



最新の議論から判例の意義を読み取ろう。

### 【Ⅰ巻—総論】計107件

- I 罪刑法定主義(2件) 刑罰法規の解釈 ほか
- II 両罰規定(1件) 両罰規定と法人の過失
- III 不作為犯(3件) 不作為の因果関係 ほか
- IV 因果関係(9件) 結果の回避可能性と過失 ほか
- V 実質的違法性(7件) 実質的違法性 ほか
- VI 正当防衛(7件) 侵害の急迫性 ほか
- VII 緊急避難(4件) 強要された緊急避難 ほか
- VIII 責任能力(6件) 責任能力の基準 ほか
- IX 故意(10件) 故意の内容 ほか
- X 過失(11件) 注意義務の存否・内容 ほか
- XI 未遂(12件) 詐欺罪における実行の着手 ほか
- XII 共犯(27件) 承継的共同正犯 ほか
- XIII 罪数(8件) 包括一罪か併合罪か ほか

### 【Ⅱ巻—各論】計124件

- I 個人的法益に対する罪
  - 1 生命・身体に対する罪(9件) 保護責任者遺棄罪における「不保護」の意義 ほか
  - 2 人格的法益に対する罪(16件) 強制わいせつ罪における性的意図 ほか
  - 3 財産に対する罪(55件) 2項強盗における財産上の利益 ほか
- II 社会的法益に対する罪
  - 1 公共危険罪(7件) 放火罪の既遂時期 ほか
  - 2 偽造罪(12件) フォト・コピーの文書性 ほか
  - 3 風俗に対する罪(3件) わいせつ電磁的記録送信頒布罪の成否 ほか
- III 国家的法益に対する罪
  - 1 汚職罪(8件) 賄賂罪の客体 ほか
  - 2 公務の執行に対する罪(6件) 公務員職権濫用罪の成否 ほか
  - 3 司法作用に対する罪(8件) 参考人の虚偽供述と犯人隠避罪の成否 ほか